

■ ベンチャーキャピタリスト養成講座 (Venture Capitalist Training Program)

1・2 学期 2 単位

非常勤講師 村口 和孝

なぜベンチャー企業は成功したり失敗したりするのか。技術革新スピードが早く、グローバルに、資本市場と結びついて変化する現代経済社会の中であって、経済のフロンティアを切り拓く創業ベンチャー企業を支援するベンチャーキャピタル (VC) の重要性が高まっている。ところが金融機関の関係会社として 1970 年代にスタートした日本の VC 産業は、これまで欧米に比べ創業支援の社会的機能を果たしてきたとは言い難い。

1998 年投資事業有限責任組合法が施行になったころから、日本でも創業支援に重きを置く「クラシック VC」が登場した。その代表が、私が運営する日本テクノロジーベンチャーパートナーズ (NTVP、秋葉原) である。投資先にはエイケアシステムズやジャパンケーブルキャストがある。1998 年に創業投資活動をスタートし、2005 年には携帯サービスのモバゲータウン成功で話題となった DeNA (南場智子社長) を 2007 年には XML 応用ソフトウェア開発のインフォテリアを東証マザーズに上場させ成功を収めた。いずれも創業から経営に関与したケースである。

本講座は、NTVP における DeNA とインフォテリアの創業支援の体験を踏まえ、VC 投資とベンチャー企業の会社経営及び VC ファンドの設立運営に関する、総合的な必要知識や見識を身につけるとともに、ベンチャー企業発展段階の判定、企業評価の仕方や、投資後の長期的関与の考え方と専門的な手法を学ぶ。おそらく日本で初めての実験現場で活躍するベンチャーキャピタリストによるベンチャー経営、ファンド設立及び投資先支援の講座である。ベンチャー経営者や弁護士、会計士などゲストスピーカーも随時投入する。

なお本講座は、座学のみでなく、講座の時間の中で、慶應大学理工学部大学院 (矢上) において毎年実施される小会社創業体験プログラムの授業と連携して、小さな VC ファンドを実際に創設運営し、ベンチャーキャピタリスト役を担い、理工学部大学院生の矢上祭における模擬店など小事業に対し投資して、ファンドとしての結果を出してもらおう。一部理工学部講義に参加して大学院生とも交流する。その過程で、事業計画の評価や投資および小会社運営への関与の実践を通して VC 投資に関する活動の要点を考察し、発表しあう。さらにベンチャー企業訪問や株主総会出席も行う。

ベンチャー経営に興味を持つ、活動的で、能動的な受講者を期待する。

講義日：水曜日午後

使用テキスト：NTVP 作成の創業体験ノート、その他ベンチャーキャピタルに関する著作